

Message.

1つの学校、市町村の取組を全道に伝えていきましょう！

点から面へ

7号

去る8月4日、石狩管内のモデル実践校28校の先生方、管内の市町村教育委員会の職員など約80名が参加し、システムの一層の活用に向けた研修会を開催しました。

講演：校務支援システムで実現できる学校経営・学校改善

連絡掲示板の効果

- ・朝の打合せ時間の短縮や回数減らすことができます
- ・口頭連絡より確実に連絡が行き渡ります
- ・教師が早く教室に行くことや職員の朝の1分間スピーチにより、職員室でのコミュニケーションを図ることができます

通知表作成の効果

- ・通知表作成の実時間が確実に短縮されます
- ・教科主任（評価の番人）と学級担任（所見入力）、教科担任（評価、評定チェック）、学年（印刷）で仕事の分担がしやすくなります
- ・全ての先生の所見を一気に見れるようになり、互いに子どもを見る視点などを学ぶことができます



講師：岐阜聖徳学園大学
教授 玉置 崇氏

ワークショップ：今後、活用したいシステムの機能について

モデル実践校で今後、取り組みたいと感じた機能と具体的内容

連絡掲示板

- ・職員朝会の廃止や回数減
- ・会議や打合せの時間短縮やペーパーレス化
- ・文書の作成、共有のルール化
- ・全教員で活用するような意識付け

出席簿

- ・月末統計での活用
- ・どの職員が欠席連絡を受けても入力できる体制づくり
- ・普通教室でも入力したい
- ・全教員で活用するような意識付け

連絡網メール、ホームページ

- ・担当者が変更するとホームページの更新が滞るので、全教員で対応し、担当者の負担軽減を図る
- ・連絡網メールの活用により緊急時の統一した対応が可能

参加者の声

- ・他校での悩みや具体的な事例を共有でき、自校でこれからやるべき課題が明確になった
- ・運用・活用方法がわかりやすく、校務支援システムで何ができるのかが具体的に目に見えて参考になった
- ・新しいことを始めるのはエネルギーが必要だが、子どもたちのために校務支援システムの活用を進めたいと感じた

今回の研修会では、先生方が校務支援システムを活用して、どのように学校の校務を改善していくか精力的に話し合いをされていました。グループウェアの改善など、日々の学校経営・学校改善に資するよう先生方と話し合いながら、みんなでシステムを作り上げていきたいと思ひます。

編集後記

道教委のシステム担当チームで、札幌市で開催される駅伝大会に出場することになりました。チーム名は「点から面へ」。あらゆる場所で「点から面へ」をアピールしていきます。（N1）